



Remoto or live classes?
bitalino
Bitalino can be everywhere
really, everywhere



生体センサーBITalinoデータ取得用ソフトウェア

OpenSignals

生体センサーBITalinoで計測したデータをリアルタイムに表示・記録する「OpenSignals」

拡張機能により効率的な解析が可能となります！

(アドオンソフトは各種 ¥99,000/税込)

bitalino

特 徴

1. コア機能 (キット本体をご購入頂く事で、ダウンロードにより使えるソフトウェアのコア機能となります)

信頼性の高い生体信号の取得と視覚化

- ✓ デスクトップ及びモバイル向けのリアルタイムおよびオフラインのデータ視覚化
- ✓ Bluetooth、BLE (WindowsおよびAndroidのみ) およびWiFi接続を備えたデバイスのサポート
- ✓ 最大18チャンネル(3デバイス)の同時データ収集
- ✓ データ収集セッションをスケジュールする可能性
- ✓ 不安定なBluetooth接続から回復するための自動再接続機能

マルチプラットフォーム及びサードパーティーとのデータの互換性

- ✓ フリーソフトウェア: ライセンスキー不要でインストール後にすぐ利用可能
- ✓ Windows(32ビット及び64ビット), MacOS, Linuxオペレーションで利用可能なデスクトップバージョン
- ✓ OpenSignalsモバイルアプリケーション: Androidデバイスが利用可能
- ✓ センサーデータ出力形式: .TXT、.H6、.EDF
- ✓ センサーデータと刺激情報の同期にE-Prime®統合
- ✓ サードパーティーのセンサーデータにも対応可能
- ✓ LSL(Lab Streaming Layer)またはTCP/IPを介したリアルタイムのデータストリーミング機能
- ✓ Googleドライブ、DropboxとRepoVizz用のクラウドベースのストレージインターフェイス

OpenSignals最新版のダウンロード

<https://support.pluxbiosignals.com/knowledge-base/introducing-opensignals-revolution/>



OpenSignals Mobileのダウンロード

<https://play.google.com/store/apps/details?id=info.plux.opensignalsmobile>



plux

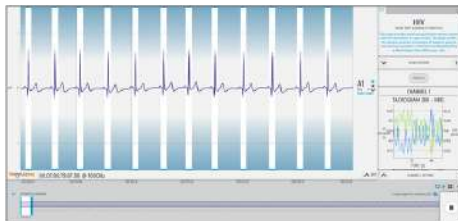
2.拡張機能 (追加のアドオンソフトをご購入頂く事で、効率的な解析が可能となります)

信頼性の高い生体信号の取得と視覚化

- ✓ 目的とする信号を自動抽出 →ユーザーは解析範囲と解析内容を選択するだけです
- ✓ CSVやPDFファイルとして解析結果を保存できます
- ✓ 研究目的に合った6種類のタイプから選べます

心拍変動解析“HRV”

例えば、ECGやBVP生体信号から自律神経系の活動を抽出し、緊張とリラクスの指標としてお使いいただけます。

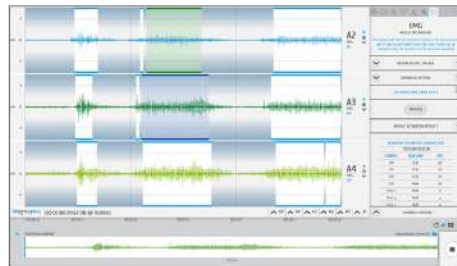


<仕様>

- ・瞬時心拍数 (IHR) の計算
- ・RRおよびNN間隔のタコグラム
- ・IHRのヒストグラム、RRとNNの間隔
- ・時間パラメーターの計算 (最大/最小、平均、標準偏差)
- ・二乗平均平方根 (RMS)
- ・心拍数 (HR) 統計 (平均、標準偏差)
- ・NN20分析 (NNインターバル全体の絶対数とパーセンテージ)
- ・NN50分析 (合計NN間隔の絶対数とパーセンテージ)
- ・スペクトル分析 (VLF、LF、HF、およびFLF / HF比) 非線形解析 (ポイントケアプロット、SD1、SD2、SD1 / SD2比)

筋電図解析“EMG”

例えば、運動や作業・リハビリ分野において、筋肉の活性化 (体のどの部分をどのくらいの時間使っているか) を解析することができます。

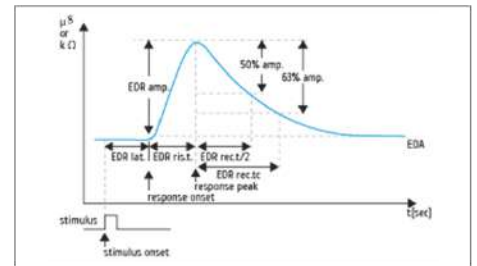


<仕様>

- ・全体的な統計 (平均、標準偏差、最小値および最大値)
- ・二乗平均平方根 (RMS)
- ・個別の活性化分析による発症検出
- ・曲線下の領域
- ・パワースペクトル密度 (PSD)

皮膚電位活動解析“EDA”

例えば、EDA生体信号から交感神経の活動を振幅変動などで抽出し、緊張とリラクスの指標としてお使いいただけます。

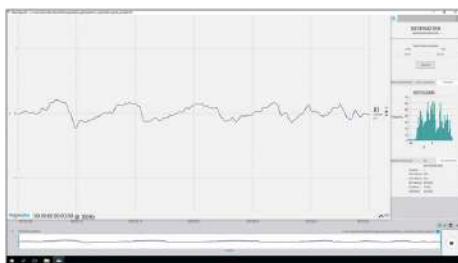


<仕様>

- ・全体的な統計 (平均、標準偏差、最小値および最大値)
- ・二乗平均平方根 (RMS)
- ・刺激開始までの潜時
- ・皮膚電気反応の振幅
- ・ピーク時
- ・立ち上がり時間
- ・50%振幅までの回復時間
- ・振幅63%までの回復時間
- ・曲線下の領域
- ・パワースペクトル密度 (PSD)

呼吸解析“RESP”

例えば、安静時と興奮時の呼吸の間隔について解析をすることができます。

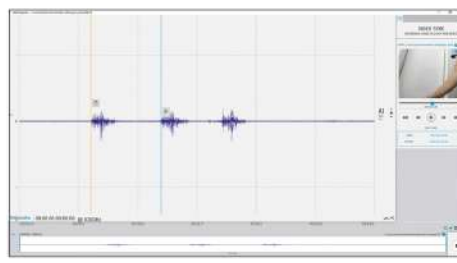


<仕様>

- ・全体的な統計 (平均、標準偏差、最小値および最大値)
- ・二乗平均平方根 (RMS)
- ・呼吸数の計算
- ・パワースペクトル密度 (PSD)

ビデオ同期“Video Synchronization”

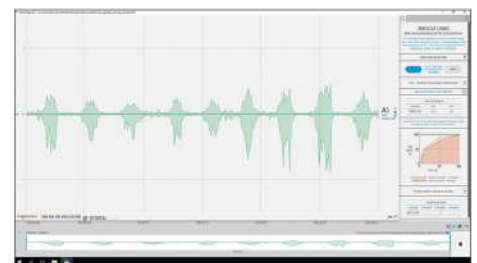
人間研究における多様式のデータ収集には、通常、生体信号収集ハードウェアデバイス以外のソース (ビデオカメラなど) からのデータの記録が含まれます。



- ・人間研究における多様式のデータ収集には、通常、生体信号収集ハードウェアデバイス以外のソース (ビデオカメラなど) からのデータの記録が含まれます。
- ・生体信号ハードウェアとカメラが独立した記録ソースである場合、記録セッションを再生する時の一般的な問題は、両方の同期です。
- ・このプラグインは、LEDアクセサリなどを使い、両方のデバイスに共通のイベントを作成することで、生体信号データをビデオと同期して簡単に再生できるツールとなります。

筋負荷解析“Muscle Load”

例えば、労働者の作業負荷の可視化や評価に最適です。



<仕様>

- ・全体的な統計 (平均、標準偏差、最小値および最大値)
- ・最大随意収縮 (MVC)
- ・振幅確率密度関数 (APDF)
- ・努力密度 (%TIME中%MVC)



各ソフトウェアの詳細は、WEBサイトでもご確認いただけます。

※サンプルレポートのダウンロードもできます。

<https://www.creact.co.jp/measure/bio/bitalino/eta.html>

 Creact

株式会社クアクト

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-8-13 五反田増島ビル4階

☎03-3442-5401 ✉info@creact.co.jp